



帰省時の感染不安に応へ 来県者 PCR 検査無料実施を

県も直ちに対策を 9都府県では実施中

●お盆に帰省したい人やその家族の皆さんなど、県境をまたいで移動する人の、

感染への不安をなくため、新型コロナウイルスの“水際対策”を強める県が増えています。

しんぶん赤旗の調査によると、8月2日現在、無料や低額で出発前や空港、高速道路などでPCR検査の提供や、検査費用の助成をしているのは9都府県（国事業含む）に上っており、本県も今からでも実施すべきです。

●既に実施している宮崎県では、一回2千円～2万円を要するPCR検査に5億8700万円の事業費を計上。県専用ウェブサイトで来県前に検査希望者からの申込を受けると検査キットを送り、希望者が検体採取後、県に返送、陰性が確認されたら来県できる仕組みとしています。

全国で進む県外往来者のPCR検査			
県名	場所	時期	費用
福岡	福岡・北九州空港、小倉・博多駅	～8/31	無料
広島	広島空港、広島・福山駅、山陽道小谷サービスエリア 出発前	～8/31	無料
徳島	出発前	～8/22	無料
宮崎	出発前/来県後	～来年3/31	公共交通は無料・マイカーは1人3千円
沖縄	那覇・新石垣・宮古・下地島・久米島空港	～9月末	5千円（県内在住者は3千円）
鹿児島	鹿児島・奄美空港	～8/31	2千円
大阪・東京（国事業）	関西・伊丹・羽田・成田空港	～8/31	無料

＊国事業は北海道、沖縄県内の空港へ向かう人が対象
＊秋田県は検査費用の半額（上限1万円）を助成
＊「出発前」は検査キットを自宅へ送付

航空機やJR等の公共交通機関利用の来県者には、より積極的に検査を受けてもらうため検査料無料、自家用車は半額補助としています。

●全国知事会でも、お盆など帰省も含めた夏休み期間の県境をまたぐ旅行や移動は、原則中止・延期するよう政府に提言。やむを得ない理由で往来する旅行者などの出発前のPCR検査や搭乗前モニタリング検査について、現在実施している北海道・沖縄・福岡便以外への拡大を求めています。

本来なら、国が諸外国では当たり前に行っている無症状者への検査を拡大すべきです。



キラリンにやんでも通信

●「議会と自治体」8月号に娘・吉良よしの報告「文化・芸術は生きるために必要だ！コロナ禍の支援拡充こそ」が掲載されています。文化・芸術分野の2020年事業収入8割減、推定損失4989億円、瀕死状態の日本の文化芸術への国のあるべき支援策を明らかにしています。

●よいお盆をお迎え下さい。

●「議会と自治体」8月号に娘・吉良よしの報告「文化・芸術は生きるために必要だ！コロナ禍の支援拡充こそ」が掲載されています。

高知市廿代町9-1-1

▼ウォルトン・バーギャラリー

18時～24時

▼8月10日～22日

●高知市での平田慎一作品展

イタリアの思い出

作品にふれ、フツと息抜きができました。



展示されている大学先輩。くままな日々へと題されて

●平田慎一作品展（野市会場は終了）会場となっている香南市野市町の「カフェ&スペース 空時間」は、妻の大学の後輩が退職後に開いた素敵な喫茶店。そして平田さんは同じ